

2022年度②

民 法

(全 2 ページ)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙・下書き用紙は、この冊子の中に折り込んであります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入下さい。
4. 解答は指定された範囲に記載すること。「書き終わり」をこえて記載した場合は、採点をしないことがあります。
5. 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は持ち帰り下さい。

民法②

I 下記についてそれぞれ 80 字以内で説明しなさい。(各 10 点)

- (1) 催告
- (2) 債権譲渡の第三者対抗要件

II 次の問題のうち、1 問を選択して解答しなさい。(100 点)

〔1〕 次の事例につき、下記の問題に答えなさい。

- 1 XはY銀行に普通預金と本件 100 万円の定期預金を持っていたが、通帳・印鑑・キャッシュカードを、配偶者のAに預けていた。Aは生活に必要な費用を、預かったキャッシュカードを用いて、Xの普通預金口座から引き出していた。Xは、Aに暗証番号を教え、普通預金の出し入れを認めていた。
- 2 Xは、Aと不仲になってめったに帰宅せず、Aには無断で、給与の振込先口座をY銀行から他の金融機関に変えてしまったため、普通預金残高が減ってAは生活に困るようになった。
- 3 Aは、Y銀行の窓口で、X名義の通帳、Xの印鑑および偽造したXの委任状を示して、30万円の定期預金を解約し普通預金に入金する手続きをした。Y銀行の窓口担当者は、AX夫婦と知人であり、AXの不仲を知らなかったため、とくに怪しむことがなかった。
- 4 XはAの行為に怒ったが、自分にも非があることから、離婚は考えていない。

(問1)

XはY銀行に対して本件定期預金の払戻しを請求できるか。(30点)

(問2)

問1でY銀行がXの請求を争わずに払戻しをした場合、YはAに対してどういう請求ができるか。(30点)

(問3)

問1でY銀行がXの請求に応じない場合、XはAに対してどういう請求ができるか。これに対して、AはXに対して何らかの主張ができないか。(40点)

〔2〕 次の文章を読んで、下記の問に答えなさい。なお、各問は独立の間である。

- 1 Aは、ある町の沿岸部に甲建物を所有している。
- 2 Bは、Aの隣人で、20年前の同じころにこの町に引っ越してきたこともあり、隣人どうしとしての付き合いはあった。
- 3 2020年10月から、Aは、仕事の都合でロンドンに家族と共に長期滞在することになり、甲建物には誰も居住していない状態となった。
- 4 2021年7月25日、台風崩れの低気圧による強風で、甲建物は屋根瓦が10枚以上吹き飛ばすなどして破損し、そこから雨水が入り込む可能性を生じた。

(問1)

Bが甲建物の屋根の修理のため、C工務店にBを注文者として修理を依頼し、修理完成后、修理代金35万円(この代金は相当なものとする)を支払ったとき、BはAに対してこの35万円の償還を請求できるか。①、②の場合それぞれにつき検討せよ。

- ① Aが出張中の甲建物の清掃や管理をBに委ね、Bもこれを承諾して、建物の鍵も預かっていたとき。(30点)
- ② Aは海外出張中のことについてBに何も頼んでいなかったが、Bが親切心からC工務店に修理させたとき。(30点)

(問2)

Aは海外出張中のことについてBに何も頼んでいなかったが、Bが屋根の修理のため、C工務店にAを注文者として修理を依頼し、修理完成后、C工務店からAに対して修理代金35万円(この代金は相当なものとする)の請求があったとき、Aは応じなければならないか。(40点)